事務事業及び予算の執行実績

（令和６年度分「一部、令和７年度分を含む」）

静岡県立伊豆中央高等学校

目　　次

事務事業の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

事務執行の根拠法令調　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６

学校施設の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１７

在籍生徒調　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１９

入学志願者及び入学者数調　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０

卒業生の動向調　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１

生徒の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２２

授業料収納状況調　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２３

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調　・・・・・・・・・・　２５

預金調　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６

委託料等歳出予算執行状況節別集計表　・・・・・・・・・・・・・・　２７

委託料に関する調　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２９

負担金支出調　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３１

建築工事調　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３３

公有財産調　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３５

借地借家等調　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３６

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調・・・・・・・　３８

行政財産貸付・使用許可調　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３９

主要備品調　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４１

職員調　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４２

職員の年齢調　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４５

健康管理　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４６

□□□□□□

事 務 事 業 の 概 要

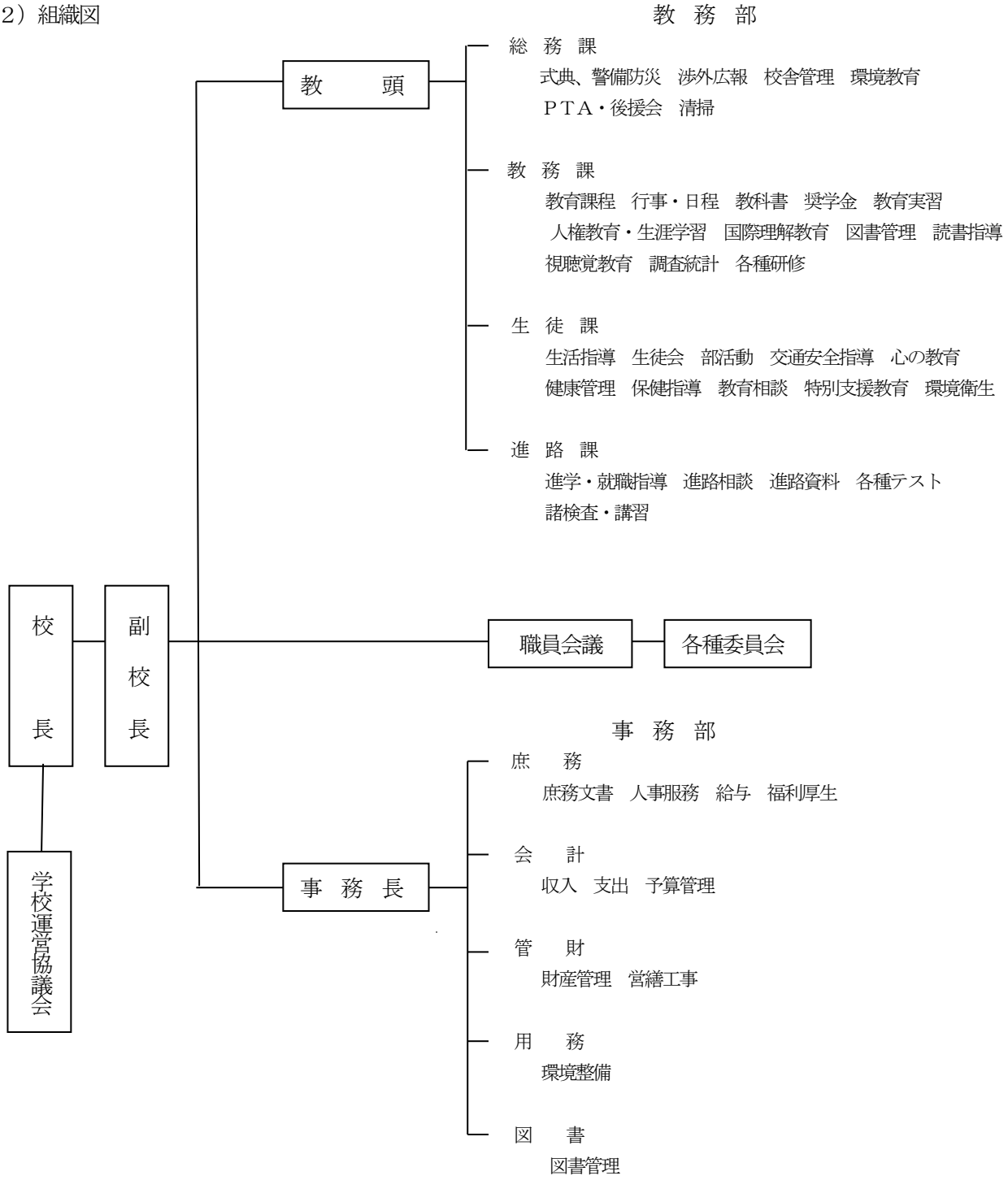
1　概　況

（1）　学校の沿革

昭和 53．3.28　田方学区新設高等学校建設計画発表
53．4．1　田方学区新設高等学校設立準備委員長菅野元次郎　他２名　発令
53．4.27　設置場所を田方郡韮山町寺家地先に決定
53.12.15　11 月定例県議会において校名を静岡県立伊豆中央高等学校と議決
53.12.22　昭和 54 年度入学者募集定員を６学級　270 人と決定
54．3.20　校舎第１期建築工事・運動場等造成工事竣工
54．4．1　開校・初代校長菅野元次郎　外 19 名の教職員着任
54．4．7　入学式を韮山町民体育館において挙行
募集定員　普通科　６学級　270 人
55．3.25　校舎第２期建築工事竣工
55．4．1　募集定員　普通科　８学級　360 人
55．8.30　体育館建築工事竣工
56．3.23　校舎第３期建築工事竣工
56．3.25　体育部室建築工事・自転車置場建築工事竣工
56．3.30　プール用地取得
56．9.24　校歌制定
57．4．1　募集定員　普通科　７学級　315 人
57．8.31　プール建築工事竣工
58．4．1　募集定員　普通科　８学級　360 人
59．3．1　夜間照明設備竣工
60．3.25　体育部室建築工事竣工
60.12.16　公共下水道接続工事により、合併処理槽機械室撤去
63．4．1　募集定員　普通科　９学級　405 人
63.10.18　創立 10 周年記念式典挙行
平成 元．4．1　募集定員　普通科　８学級　360 人
5．4．1　募集定員　普通科　８学級　344 人
6．4．1　募集定員　普通科　８学級　336 人
7．4．1　募集定員　普通科　８学級　328 人
8．4．1　募集定員　普通科　７学級　280 人
11.11.11　創立 20 周年記念式典挙行
11.12.10　創立 20 周年記念事業　生活研修館「清流館」竣工
12．3．7　「清流館」静岡県寄附受領
12．4．1　募集定員　普通科　６学級　240 人
14.12.27　弓道場建築工事竣工
15．9.16　校舎（西側）耐震補強工事竣工
20．3.25　校舎（東側）耐震補強（Ⅰ期）工事竣工
20.11．7　創立 30 周年記念式典挙行
20.11.17　校舎（中央）耐震補強（Ⅱ期）工事竣工

21.12.21　体育館耐震補強工事竣工
23．4．1　募集定員　普通科　５学級　200 人
24．4．1　募集定員　普通科　６学級　240 人
25．4．1　募集定員　普通科　５学級　200 人
30．2．1　昇降口棟他外壁修繕工事竣工
30.11.17　創立 40 周年記念式典挙行
令和 5．4．1　募集定員　普通科　４学級　160 人
7．4．1　募集定員　普通科　３学級　120 人

（2）組織図



２　目指す学校像

（１）スクール・ミッション

地域のリーダー的人材育成を目指し、大学等さらなる高度な教育での学びに向かう資質・能力、意欲を育成する学校として、「明るく　正しく　たくましい」の校訓のもと、地域連携等の学校内外の多様な他者との協働的な教育活動を通して、自己を鍛え、健全で逞しい精神を身に付け、自信と誇りを持って社会や地域を支え導く人材育成を目指す。

（２）スクール・ポリシー

①グラデュエーション・ポリシー（卒業までに育成を目指す資質・能力に関する方針）

～本校では卒業までにこのような力を身に付けます～

○明るく何事にも積極的に取り組み、人として正しくあろうとし、健全で逞しい精神を身に付けることに努める力

○大学等さらなる高度な教育において、学びに向かう資質・能力

○自信と誇りを持って社会や地域を支え導くことのできる力

②カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

～本校ではこのような学びを行います～

○グローバルな視野と幅広い教養を育み、社会や地域のことを学び、社会や地域に貢献できる資質・能力を育成する探究活動の推進

○協働的な教育活動を通して、基本的な知識の確実な習得とともに、論理的な思考力や考察力を高める授業の実施

○効率的な学習や社会課題の解決に向け、信頼性の高い情報を収集・分析・活用できるICT活用スキルを育成する教育活動の実施

③アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

～本校ではこのような生徒を求めています～

○地域や世界の様々な事象に関心を持ち、自ら課題を発見し、その解決に向けて多様な人々と協働しながら探究する意欲がある生徒

○知的好奇心が旺盛で、主体的に学び続ける意欲がある生徒

○授業はもちろん、行事や生徒会活動、部活動、校外の活動にも積極的に取り組む意欲がある生徒

３　監査対象期間の年度別学校経営の取組等

（１）令和６年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	自己肯定感の涵養	生活リズムが安定している90%※1 朝食摂取率95%※1 自ら行動している80%※1	今年度の朝食摂取率は、98.9%。	A	朝食摂取率は、98.9%で、目標は達成できた。あと 1.1%の生徒については朝食をしっかり食べて一日のリズムを整え、健康管理に努めてもらいたい。
		挨拶の励行90%※1 規範意識のある生活95%※1 いじめ･体罰0件 生徒による学校生活の見直し	自ら挨拶ができ規範意識のある生活は達成できた。	A	自ら進んで挨拶する習慣は校風となっている。規範意識のある生活は概ね良好である。いじめ件数は 0 件であり、早期発見及び未然防止としてアンケート実施は大変機能している。
		③連続欠席者への早期対応・支援の強化 相談できる教職員の存在80%※1	相談できると答えた生徒 1 年 55％、2 年 49％、3 年 68％	B	担任、学年主任、特別支援コーディネーター、SCと協力して丁寧に対応した。悩みを抱えた生徒や保護者にSCの利用を促し、ケース会議も活用した。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	自己肯定感の涵養	行事等実施後の満足度 80%※1 友人や周囲への思いやり度 90%※1 諸行事への自主的参加 90%※1	学校行事が充実していると答えた生徒１年 97%、２年 95%、３年 96% 信頼できる友人がいると答えた生徒１年 97%、２年 97%、３年 98% 修学旅行アンケート満足度（とても満足＋満足）97.1%	A	多くの生徒が、積極的に学校行事に取り組み満足度も高く充実した学校生活を送れている。多様な生徒に対して生徒は互いに認め合い心根が優しい生徒が多く一人ひとりが思いやりを持ち相手を尊重して学校生活を送っている。修学旅行後のアンケートでは 97.1%がとても満足・満足と回答し、目標は達成できた。
		部活動との両立ができた生徒 90%※1 部活動ガイドラインの遵守 100%※3	部活動との両立ができた 73％。ガイドラインの厳守 100％	A	部活動に積極的に参加している。93％。学習にも意欲的に取り組んでいる。ガイドラインを厳守し成果を上げた。
イ	自ら学ぶ力の育成	授業理解度（わかりやすい授業）90％以上※1 教職員間での授業公開と授業見学の実施 他校の取組の研究	本校の先生の授業はわかりやすいと答えた生徒１年 66%、２年 46%、３年 68% 教員間の授業公開は６月、10 月の強調月間において全教員が行っている。 総合的な探究の時間、英語、数学、理科、地歴科等で他校の取り組みを参観した。	B	授業が分かりやすいかという問いの選択肢に「ふつう」を加えたため、「あてはまる」「だいたいあてはまる」と答えた生徒の割合が昨年度よりも減少した。 3 学年とも学習用端末が整備されたことで、ICT を活用する場面も増えており、多くの職員が分かりやすい授業を行うために工夫をしている。
		探究の時間の充実 70%※1 学習意欲の向上 80%※1	探究の時間が「充実していた」「どちらかといえば充実していた」と回答した生徒の割合が 91.3%	A	東京グローバルゲートウェイでの体験研修や保育体験実習、大学見学等の学校外での活動の満足度が高かった。また、自己の興味に基づく課題研究では、将来について新たな視点で考える機会となった。 DX ハイスクールとなり、数理・情報系の内容をより充実させていくことが今後の課題である。
		基礎力テスト（スタディーサポート）の活用 到達度テスト（リクルート）学習到達度 70%以上 生徒自らスタディサプリの使用 100% 外部模試偏差値平均 52 以上	到達度テストの正解率は、右記のとおり。 スタディサプリの利用率は１年 95.2%、２年 79.5%、３年 54.5%	B	到達度テスト平均正解率 5月　10 月 1年　全体 73.9% → 61.8% 2年　全体 53.8% → 53.4% 概ね昨年度と同程度の正解率であった。スタディサプリは、3 学年とも利用率が昨年比 110％程度と増加しており、自主学習のツールとして活用されている様子がうかがえる。
		家庭学習時間 1 日平均2時間以上	休日でも目標より 30 分程度下回った。	B	家庭学習のきっかけとして、放課後に教室を開放し、学校で自主

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
イ	自ら学ぶ力の育成	自主的な学習への取組 80%以上※1 放課後等自主学習の継続	自主学習を行っている生徒は 1 年 66.6%、2 年 58.0% 家庭学習時間 10 月調査 1年平日 55 分 休日 1 時間 23 分 2年平日 53 分 休日 1 時間 23 分		学習をしていくことを推奨している。 自主学習への取組みは、「課題等の提出が必要なものがあるときに学習する」という回答を合わせると、1 年 91.0%、2 年 89.2%であり、課題があれば、ほとんどの生徒が家庭で学習に取り組めている。一方で、勉強する時間を決めて取り組んでいる生徒は少ないため、課題がなくとも自主的に学習に取り組む習慣をつくることが今後の課題である。
ウ	こころざしの育成と全生徒の進路実現	自己実現を考える機会年間 10 回以上(進路講演会、きらめきフォーラム、大学説明会、系統別説明会、医療講座、公務員講座、学校薬剤師と語る会等) 大学見学満足度 90%以上※1 TGG満足度 90%以上※	大学見学満足度 87.8% TGG 満足度 87.1%	B	例年行っているきらめきフォーラム、進路講演会などに加え、オンラインを活用しての個に応じた大学説明会や学部ガイダンスを新たに実施したため、年間 10 回を上回る進路行事を行うことができた。その結果として、生徒の進路選択の視野が広がっている。大学見学とTGGについては、より充実したものとなるよう、行事の抜本的な見直しを進めている。
		オープンキャンパスへの参加 80%以上※1 大学進学の目的が明確になった 70%※1	オープンキャンパスへの参加率 65.5% 大学進学の目標が明確になったとしている生徒は 95.9%	B	オープンキャンパスへの参加率は 2 年生に限ると 86%となり、2 年生全員が何らかの形で大学調べを行っている。大学進学の目標決定に重要な役割を果たしていると考えている。
		国公立大学への合格率 25%以上	令和5年度度卒業生は 30.8%	B	12 月末段階では総合型選抜および、公募型の学校推薦型選抜で 11 名の合格者が出ている。この数字はここ数年ではもっとも多いものとなっている。一般選抜においてさらに合格者を増やせるよう努力していきたい。
エ	組織力の強化と業務改善	分掌・学年会の定期的実施 分掌業務・組織の見直しと適切化 各内規の見直しの実施 ICT を活用した業務改善の推進	次年度の分掌を令和6年度の6分掌から4分掌へ変更する。 職員会議資料のICT化と整理方法の改善	A	図書・研修課→教務課に吸収 保健主事、養護教諭、相談室長→生徒課に吸収 教務・生徒・進路・総務の4分掌とする。次年度以降教務課と総務課を統合し、3分掌することを検討する。 次年度から職員会議資料を協議事項と報告事項に分類し、事前に協議のゴールイメージを提示するように変更する予定。今年度

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
エ	組織力の強化と業務改善				中に分類は進める。
		健診受診率 100%※3 ストレスチェック受診率 100%※3 夏季休暇の完全取得者 100%※3 完全退校時間の遵守 職員の超過勤務時間の削減	夏季休暇完全取得者＝94.2% 完全退校時間 20 時 30 分設定 超過勤務時間の削減令和 5 年度比 24.3%削減(10 月末)	C	夏季休暇完全取得は昨年同様 2 名の未取得者が出てしまった。完全退校時間は昨年度よりも 1 時間 30 分前倒ししたが、繁忙期がずれることから順守率は低い状況が続いている。超過勤務時間については令和 5 年度比で改善されているが、依然として多い。
		不祥事0件 不祥事ミニ研修年 10 回以上 教育公務員としての自覚 100%※3	不祥事ミニ研修 12 回実施 不祥事1件	B	職員会議ごとにコンプライアンス通信等を使ってミニ研修を行った。本校での事案についても自分事としてとらえられるように研修を行った。 定期テストの際に答案用紙を1枚紛失するという不祥事が発生した。
オ	学校・家庭・地域との連携協力	ボランティア等地域活動に参加する生徒 60%以上※1	校外のボランティア活動に参加した生徒 30 名	B	ボランティア活動に興味を持ち積極的に参加する生徒も昨年と比較すると増えているように思われるが、全体的にみると参加する生徒は少ない。
		保護者が学校に来る機会の増加 保護者への進路情報の提供 保護者が学校のことを知るようになった 70%以上	PTA 総会出席率 47%。PTA と後援会と生徒との懇談会は 17 名の保護者の出席。公式インスタグラム開設。	B	PTA 総会の出席率は、50%になるように呼びかけを行いたい。 「PTA と後援会と生徒の懇談会」は例年よりも保護者の出席が多くなったのでよかった。公式インスタグラムで学校行事などの情報を発信したことにより、保護者も含めて学校の情報を知ってもらう機会が増えた。
		交通事故件数前年度より減 非行・問題行動0件	交通事故 4 件、非行問題行動 0 件	A	交通事故 4 件については、自転車対自動車が 3 件、自転車対自転車が 1 件。問題行動 0 件は、生徒は非常に落ち着いた生活を送れている。
		学校説明会の実施年3回以上 オープンスクールの実施年2回 参加者満足度 90% 中学生への直接的な広報の計画と実施 中学校訪問による情報収集と連携の充実	学校説明会4回 中学生進路相談会2回 オープンスクール3回 中学校訪問(1年部・運営委員) 中学校の高校説明会 20 回	A	昨年度よりも広報活動は充実し、インスタグラムでの広報活動など中学生からの反響もよかったが、定員減となりマイナスの印象となってしまった。今後は定員減少をプラスに転じる特徴づけが課題。 授業公開のアンケートでは、生徒の挨拶や真面目な授業態度が高く評価されており、これまでの堅実な取組みも引き続き継続していきたい。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
オ	学校・家庭・地域との連携協力	年3回以上実施 連携事業の検討	年3回実施（5月、11月、1月）	A	今年度は第1回を文化祭の校内発表と重ねたことにより委員の方に文化祭を見ていただくことができた。第2回でスクールミッションについて意見をもらうことができ、学校の方向性について協議することができた。
カ	魅力ある学校づくり	将来構想の具現化 事業開発・実施	令和 6 年度DXハイスクール事業、静岡県「行きたい学校づくり」推進事業採択	A	いずれの事業においても情報系の内容を中心に据えた総合的な探究の時間のプログラムを完成することを目指している。なお、令和 8 年度から 2 年生全員に情報Ⅱを履修させるなど特徴的なカリキュラムを作成することができた。
		ホームページ更新回数前年度より増 本校の記事新聞掲載数前年度より増	ホームページ全面改訂 インスタグラムフォロワー1,500 人突破	A	今年度はホームページの切り替えがあり、全面見直しと記事の更新を行った。さらに、公式インスタグラムを開設し、半年間でフォロワー数が 1,500 人を超えた。
		防災訓練年３回実施 緊急時対応の理解度 100% ※1※2※3 地域防災訓練参加率の向上	防災訓練は地震、水害、火災の訓練を1回ずつ計3回しっかり行った。地域防災訓練の参加率 7%。	B	防災訓練については、1学期に地震の防災訓練、2学期に火災の防災訓練、3学期に水害の防災訓練を行った。 地域防災訓練の参加状況は、2年生の修学旅行や、1．3年生の期末試験前と重なり、あまりよい状況ではなかった。
		適切な会計処理の励行と不祥事根絶 環境整備、危険個所の把握、安全管理等の点検年３回以上 教育環境の改善度 90%※1	監査、検査における指摘事項は0件。ほぼ毎日校舎内を巡回し、安全管理を実践した。屋外便所改修工事と生徒昇降口の環境改善を行なった。	A	DXハイスクールの予算を活用した情報・総探準備室を設営したことにより、生徒にとっても魅力的な教室を作ることができた。 今後も適切な会計処理を継続していく。
		学校評価アンケート課題解決２項目以上	・定員割れの対策のため、入試制度の改変と広報活動の充実を行った。 ・保護者連絡用ツールを次年度から統一するため、今年度の1，2年生から試行実施。	A	・今年度入試から定員削減になってしまったが、学校裁量枠の探究分野を創設し、公式インスタグラムの開設も行った。中学生からも好評で、一日体験入学、授業公開では昨年度よりも100名近く多くの中学生が参加してくれている。 ・保護者への連絡手段を統一（次年度からスタディサプリの連絡ツール）することが決定した。今年度から1，2年生で試行しており、全保護者が登録を完了している。

（２）令和７年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	自己肯定感の涵養	自主自律の精神の育成ならびに基本的生活習慣の確立	生活リズムが安定している 90%※１ 朝食摂取率 95%※１ 自ら積極的に行動している 80%※１	生徒課
		挨拶、言葉遣いと生徒による規範意識の育成	挨拶の励行 90%※１ 規範意識のある生活 95%※１ いじめ・体罰０件 生徒による学校生活の見直し	生徒課
		教育相談による予防対応	連続欠席者への早期対応・支援の強化 相談できる教職員の存在 70%※１	生徒課
		学校行事等による主体性、創造性、社会性の育成	行事等実施後の満足度 80%※１ 友人や周囲への思いやり度 90%※１ 諸行事への自主的参加 90%※１	生徒課 総務課
		学業と両立する効率的な部活動の実施	部活動との両立ができた生徒 80%※１ 部活動ガイドラインの遵守 100%※３	生徒課
イ	自ら学ぶ力の育成	授業力の向上	授業理解度（わかりやすい授業）90%以上※１ 教職員間での授業公開と授業見学の実施 他校の取組の研究	教務課
		総合的な探究の時間による自ら学ぶ力の育成	探究の時間の充実 70%※１	教務課 進路課
		基礎学力の定着と自ら学び直す力の育成	基礎力テスト（スタディーサポート）の活用 到達度テスト（リクルート）後の配信課題への取組 80%以上 生徒自らスタディサプリの使用 70% 外部模試偏差値平均 52 以上	教務課 進路課
		自走力に繋がる学習習慣の強化	家庭学習時間１日平均２時間以上 自主的な学習への取組 80%以上※１ 放課後等自主学習の継続	教務課 進路課
ウ	こころざしの育成と全生徒の進路実現	こころざしの育成につながる機会の提供	自己実現を考える機会年間 10 回以上（進路講演会、きらめきフォーラム、オンライン学部説明会、系統別説明会、希望進路講座、公務員講座、学校薬剤師と語る会等） ＴＧＧ満足度 90%以上※１	進路課 学年部
		生徒自ら切り拓く進路	オープンキャンパスへの参加 80％以上※１ 大学進学の目的が明確になった 70%※１	進路課
		生徒の進路実現に向けた計画的な指導	国公立大学への合格率 30%以上	進路課 学年部

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
エ	教職員の組織力の強化と業務改善	分掌内の情報共有と業務改善	分掌・学年会の定期的実施 分掌業務・組織の見直しと適切化 各内規の見直しの実施 ICT を活用した業務改善の推進	管理職 各分掌
		定期的な健康診断とストレスチェック、計画的な休暇促進	健診受診率 100%※３ ストレスチェック受診率 100%※３ 夏季休暇の完全取得者 100%※３ 完全退校時間の遵守 職員の超過勤務時間前年比 95%へ削減	管理職
		コンプライアンスに関する研修会	不祥事０件 不祥事ミニ研修年 10 回以上 教育公務員としての自覚 100%※３	管理職
オ	学校・家庭・地域との連携協力	地域活動との連携	ボランティア等地域活動に参加する生徒 50%以上※１	生徒課
		家庭との連携協力	保護者が学校に来る機会の増加 保護者への進路情報の提供 保護者が学校のことを知るようになった 70%以上※２	総務課 進路課
		家庭、地域との連携による交通事故、問題行動の防止	交通事故件数前年度より減 非行・問題行動０件	生徒課
		中学生、その関係者に対する広報活動	学校説明会の実施年３回以上 オープンスクールの実施年２回 参加者の満足度 90% 中学生への直接的な広報の計画と実施 中学校訪問による情報収集と連携の充実	管理職 教務課
		学校運営協議会（コミュニティースクール）の開催	年３回以上実施 連携事業の検討	管理職
カ	魅力ある学校づくり	伊豆中央高校の将来（５年）を見据えた構想の立案	将来構想の具現化事業開発・実施	管理職
		ホームページ等による学校活動の情報発信	ホームページ更新回数前年度より増 本校の記事新聞掲載数前年度より増	管理職 情報管理委員会
		危機管理に関する訓練	防災訓練年３回実施 緊急時対応の理解度 100% ※１※２※３ 地域防災訓練参加率の向上	総務課
		教育環境の整備と事務の適切な執行	適切な会計処理の励行と不祥事根絶 環境整備、危険個所の把握、安全管理等の点検年３回以上 教育環境の改善度 90%※１	管理職 事務室 総務課
		学校評価アンケートの分析・活用	学校評価アンケート課題解決２項目以上	管理職
		ICT 活用スキルの向上	AI、データサイエンス、プログラミング等を活用して課題解決するプロセスを理解するようになった。75%以上	情報管理委員会

成果目標の数値はアンケート調査による割合（%）※１は生徒　※２は保護者　※３は教職員

４　監査対象期間における特色ある取組

年　度	取組概要	成果及び課題
令和 ６年度	・こころざしの育成と全生徒の進路実現 ・魅力ある学校づくりと情報発信への取組	・生徒の将来に向けたこころざしの育成を目指し、「きらめきフォーラム」を実施。１年生は大学説明、２，３年生は地域の方を講師として招いて、講演とワークショップを行った。講師には本校卒業生をはじめ、地元の公務員、地元で活躍する経営者、ＮＰＯ法人の代表、スポーツトレーナーやフィットネスインストラクターなどを招いた。留学経験のある社会人等多様な人々の講演を聞くことで、生徒のキャリアデザインにおける視野を広げる取組ができた。 ・今年度は年度当初に「ＤＸハイスクール」採択が決定し、さらに７月には「行きたい学校づくり」推進事業にも採択された。これらの事業を活用し、学校の特徴化の一つの柱として、情報活用能力の育成を掲げ、公式インスタグラムの立ち上げなど生徒が情報発信にかかわる場面を増やした。また、４月に有志の職員による「生徒募集のための広報委員会」を立ち上げ、例年発行している「学校案内」の内容を見直して、他校に先駆けて発行することができた。また、中学校への学校説明会資料も検討しなおし、内容を一新した。
令和 ７年度	・こころざしの育成と全生徒の進路実現 ・魅力ある学校づくりと情報発信への取組	・生徒の将来に向けたこころざしの育成を目指し、「きらめきフォーラム」を実施。１年生は大学説明、２，３年生は地域の方を講師として招いて、講演とワークショップを行った。講師には本校卒業生をはじめ、地元の弁護士、美術館学芸員、地元で活躍する経営者、医療従事者などを招いた。地元で活躍する多様な人々の講演を聞くことで、生徒のキャリアデザインにおける視野を広げる取組ができた。 ・今年度は昨年度に引き続き「ＤＸハイスクール」及び「行きたい学校づくり」推進事業に採択された。これらの事業を活用し、IC lab. の環境整備で購入した機器を利用したり、大学等と連携しSTEM教育を学んだりするなどを行った。また、地域課題解決にかかわる活動として、RESASなど学び活用することで情報活用能力の育成を促進したり、各種コンテストに参加したりするなどした。情報発信においては、公式インスタグラムによる発信も活発に行いフォロワー数も大幅に増加し在校生、保護者をはじめ、地域の方や中学生にも日常の様子をお知らせすることができた。さらに中学校等における学校説明会や一日体験入学においても、これまでの取組や日常の様子を発信することができた。

5　教職員について

（1）異動状況

区分	本務職員							臨時職員 非常勤職員（会計年度任用職員）					合計
	校長	副校長	教頭	教諭	事務長	主査	小計	臨時事務職員	非常勤講師	部活動指導員	非常勤労務職員	小計	
転出者		1		3	1		5					0	5
退職者				5			5		3	1		4	9
昇　任						1	1					0	1
転入者		1		2			3					0	3
新任者				1			1		1			1	2
再任用（新　任）				2			2					0	2
昇　任					1		1					0	1
差引増減	0	0	0	−3	0	−1	−4	0	−2	−1	0	−3	−7

（2）現員数（令和７年７月31日現在）

	本務職員										
区分	校長	副校長	教頭	事務長	教諭	養護教諭	実習助手	主査	主任	主事	本務計
人数	1	1	1	1	27	1	1	0	2	0	35

	臨時・任期付・会計年度任用職員								
区分	教諭（臨）	主事（臨）	外国語指導講師	非常勤労務職員	非常勤講師	校医等	部活動指導員	臨時計	合計
人数	0	1	1	3	9	6	1	21	56

（３）健康管理について

健康の維持増進への取組

ア　定期健康診断の健診結果を基に、再検・精検該当者に対しては早期受診を促し、疾病の早期発見と健康保持に努めている。

イ　定時退庁を推奨するなど、時間外勤務を縮減し職員の健康保持に努めている。
長期休業中に十分な休養の機会が取れるよう努めている。

ウ　毎月、定期的に職員安全衛生委員会を開き、快適な職場環境の維持や教職員のメンタルヘルス等について話し合いをしている。委員会で取り上げるテーマとして「インフルエンザや新型コロナ感染症対策」「熱中症の予防」等、タイムリーな話題を取り上げるようにしている。

エ　健康診断の結果や時間外勤務が多く、健康管理医から指導助言を受けた教職員については、学年・分掌・教科の教員による見守り、援助を行っている。今後も職員の時間外勤務の縮減に向け、適切な業務分担となるよう配慮している。

（４）教職員の研修について

〈令和６年度〉

研修テーマ	内　　容	成果・課題
学力向上への取組	５月、10 月に到達度テストを実施。スタディサプリでテスト連動課題を配信し、苦手分野の復習に取り組ませる。	テストの結果を基に、振り返りの研修を行い、学年や各教科での指導の材料とすることができた。また、スタディサプリの活用の程度は職員により異なる様子が伺われた。
授業公開	７月 31 日に中学生一日体験入学を実施した。また、10 月と 12 月に授業公開を実施する。中学生とその保護者を中心に普段の学校の様子を見てもらう。	中学生一日体験入学では、参加した生徒の本校への印象は良いものだった。また、授業公開を通じて、本校の良さを中学生に知ってもらう。
学校評価	11 月に生徒・保護者に対して、学校評価アンケートを実施する。	昨年度と同様、生徒・保護者の声を広く拾い上げ、その結果を職員に周知し、今後の教育活動の参考にする。
全体研修	全職員を対象に「教育のＤＸ化と働き方改革」をテーマに静岡産業大学の永田奈央美教授に講演をしていただいた。	ＩＣＴを活用した授業の実践例や、実際に授業で利用できそうなサイトなどを示していただき、働き方改革に向かうＩＣＴの活用とＤＸ化について理解することができた。
教科別研修	各教科でＩＣＴを活用した授業の取り組み例、課題等を協議し、全体では web 上で共有した。	教科内で理解が図られたとともに、報告書をまとめて教科を超えて教員全員でその結果を共有することができた。

研修テーマ	内　　容	成果・課題
中堅教員等研修Ⅰ	教職 10 年程度の経験者を対象とした資質向上を目指す。	１名が研修に参加している。
７年次研修	教職７年の経験者を対象とした資質向上を目指す。	３名が研修に参加している。
２年次研修	教職２年の経験者を対象とした資質向上を目指す。	１名が研修に参加している。

〈令和７年度〉

研修テーマ	内　　容	成果・課題
学力向上への取組	５月、10 月に到達度テストを実施。スタディサプリでテスト連動課題を配信し、苦手分野の復習に取り組ませる。	テストの結果を基に、振り返りの課題を配信し、学年や各教科での指導の材料とすることができた。スタディサプリのさらなる活用を各教科で模索している。
授業公開	７月 28 日に中学生一日体験入学を実施した。また、６月と 10 月に授業公開を実施する。中学生とその保護者を中心に普段の学校の様子を見てもらう。	中学生一日体験入学では、参加した生徒の本校への印象は良いものだった。また、授業公開を通じて、本校の良さを中学生に知ってもらう。
学校評価	11 月に生徒・保護者に対して、学校評価アンケートを実施する。	昨年度と同様、生徒・保護者の声を広く拾い上げ、その結果を職員に周知し、今後の教育活動の参考にする。
全体研修	全職員を対象に「授業における ICT 活用事例や AI（Canva）の活用例」をテーマに校内の教員による研修を行った。	ＩＣＴを活用した授業の実践例や、実際に授業で利用できそうなアプリを提示した。働き方改革に向かうＩＣＴの活用とＤＸ化について理解することができた。
教科別研修	各教科で観点別学習状況の評価の導入による変化等を協議し、全体では web 上で共有した。	教科内で理解が図られたとともに、報告書をまとめて教科を超えて教員全員でその結果を共有することができた。
中堅教員等研修Ⅰ，Ⅱ	教職 10 年程度の経験者を対象とした資質向上を目指す。	それぞれ１名ずつ計２名が研修に参加している。
８年次研修	教職８年の経験者を対象とした資質向上を目指す。	２名が研修に参加している。
３年次研修	教職３年の経験者を対象とした資質向上を目指す。	１名が研修に参加している。
初任者研修	教職１年目を対象とした資質向上を目指す。	１名が研修に参加している。

6　防災対策について

（1）防災訓練

〈令和６年度〉

指導目標	取組内容	成果・課題
地震・火災が様々な時間帯に発生することを想定し訓練を実施	（４月８日） ・全学年を対象に地区別生徒集会を実施した。 ・災害発生時、地区別に集合することを想定し、全学年の地区別の初顔合わせを行った。 ・地区長、副地区長及び学年責任者を選出した。	・自己紹介をし、同じ地区のメンバーの顔を覚えることによって、災害発生時の人員点呼が速やかにできるように意識付けを行った。各地区とも上級生が中心となり、確実に確認を行った。 ・各責任者にはリーダーとして行動することを確認した。 ・年度の変わるタイミングで身上が変わる生徒がいるので、身上変更手続きをしっかりと行うよう指示した。
	（８月 29 日） ・防災訓練（地震発生想定）を実施した。 ・全学年を対象に、授業中に地震が発生したことを想定し、一次避難を実施した。雨天のため二次避難は体育館とした。生徒が教員誘導の下、混乱を避け避難できるように訓練を行った。なお、避難経路については掲示物を使って確認した。 ・また、帰宅カードに従い、公共交通機関が運転見合わせになった場合を想定し、帰宅カードに基づいた安全管理、生徒把握の確認を実施した。	雨天であったため、校庭への避難は実施できなかった。体育館で実際の避難の際と同様に整列し、帰宅方法や学校宿泊者の確認を行った。 ・帰宅方法別確認はスムーズに行うことができた。 ・学校宿泊者の確認はスムーズに行うことができた。 ・教頭による各学年の点呼確認はスムーズに行うことができた。

（令和７年度）

指導目標	取組内容	成果・課題
地震・火災が様々な時間帯に発生することを想定し訓練を実施	（４月８日） ・全学年を対象に地区別生徒集会を実施した。 ・災害発生時、地区別に集合することを想定し、全学年の地区別の初顔合わせを行った。 ・地区長、副地区長及び学年責任者を選出した。	・自己紹介をし、同じ地区のメンバーの顔を覚えることによって、災害発生時の人員点呼が速やかにできるように意識付けを行った。各地区とも上級生が中心となり、確実に確認を行った。 ・各責任者にはリーダーとして行動することを確認した。 ・年度の変わるタイミングで身上が変わる生徒がいるので、身上変更手続きをしっかりと行うよう指示した。

指導目標	取組内容	成果・課題
	（９月１日） ・防災訓練（地震発生想定）を実施した。 ・全学年を対象に、授業中に地震が発生したことを想定し、一次避難を実施した。生徒が教員誘導の下、混乱を避け避難できるように訓練を行った。なお、避難経路については掲示物を使って確認した。 ・また、帰宅カードに従い、公共交通機関が運転見合わせになった場合を想定し、帰宅カードに基づいた安全管理、生徒把握の確認を実施した。	避難に要した時間は約５分。スムーズに避難することができた。 ・正副担任による帰宅方法別確認はスムーズに行うことができた。 ・学年主任による学校宿泊者の確認はスムーズに行うことができた。 ・教頭による各学年の点呼確認はスムーズに行うことができた。

7　学校開放について

地域住民の社会教育活動、スポーツ活動等生涯学習活動の振興や親睦行事のために、授業・部活動に支障のない範囲で施設を積極的に開放する。

体育施設等の利用状況（一般開放）　（令和6年度）

施設名	利用日数（日）	利用人数（人）	利用者負担金（円）	主な利用種目
体育館	8	369	0	バスケットボール
教室棟	21	3,996	28,850	土曜講習
計	29	4,365	28,850	

（令和7年度）

（令和7年７月 31 日現在）

施設名	利用日数（日）	利用人数（人）	利用者負担金（円）	主な利用種目
体育館	3	90	0	バスケットボール
教室棟	4	502	0	土曜講習
計	7	592	0	

□□□□□□□□□

事務執行の根拠法令調

項　目	根　拠　法　令
1　学校教育に関すること	教育基本法（第1条、第2条）
	学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条、第60条）
	学校教育法施行規則
	学校保健安全法（第5条）
	静岡県立学校設置条例
	静岡県立高等学校学則
	高等学校学習指導要領
	理科教育振興法（第11条）
	理科教育振興法施行令
2　学校の管理・運営に関すること	学校教育法（第137条）
	地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条）
	静岡県立学校管理規則
	教育公務員特例法（第21条、第22条）
	学校保健安全法（第15条、第27条）
	静岡県立学校職員安全衛生管理規程
	社会教育法（第43条、第45条、第47条）
	静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱
	学校図書館法（第3条、第4条）
	静岡県教育委員会処務規程
	静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例
	静岡県立学校授業料等徴収規則
	高等学校等就学支援金の支給に関する法律
	高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令
	高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則
	高等学校等就学支援金事務処理要領
	静岡県公立高等学校等就学支援金事務処理要領
	静岡県手数料徴収条例
	静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則
	静岡県情報公開条例施行規則
	独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条）

□□□□□□□

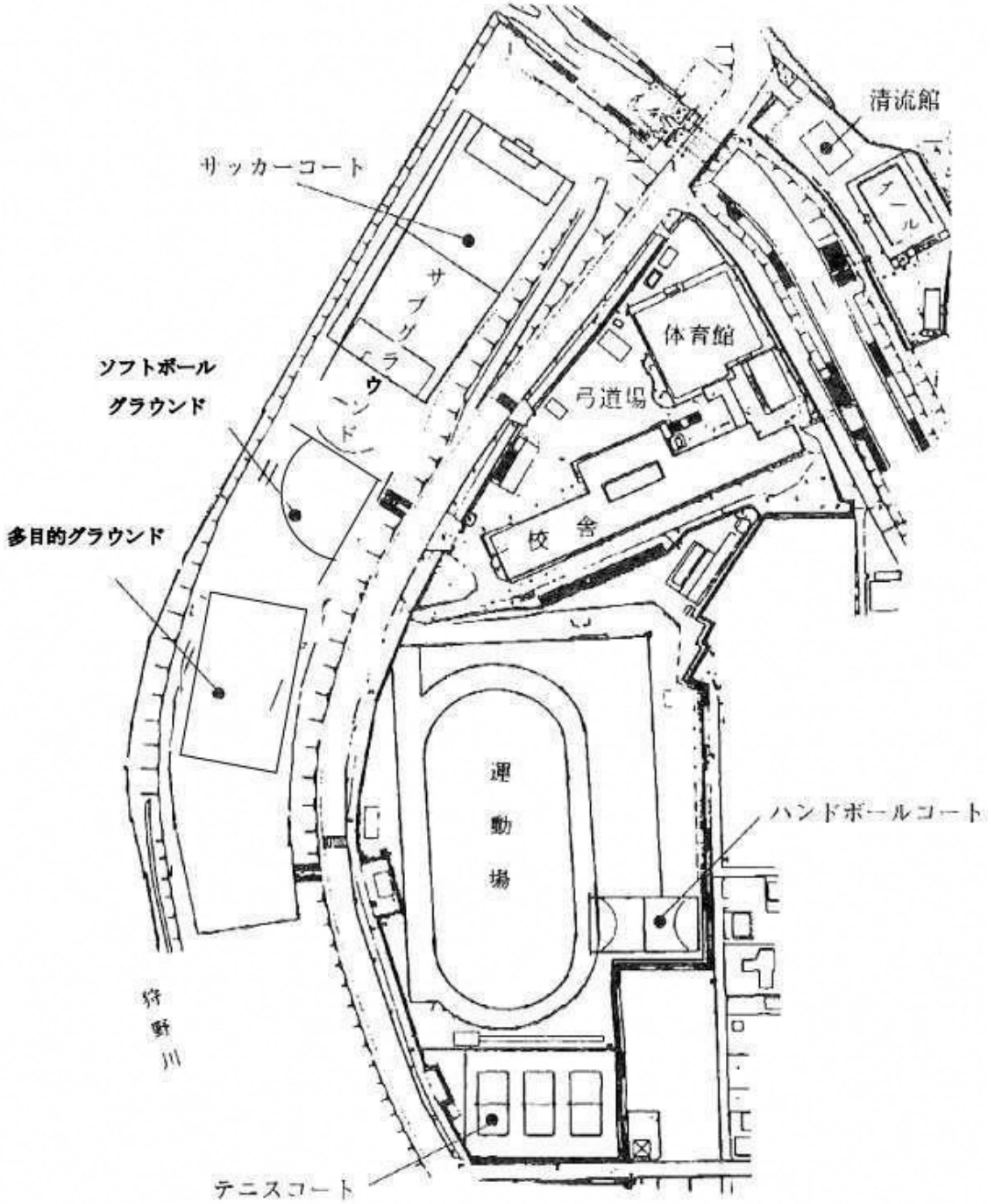
学 校 施 設 の 概 要

1　面積及び所有区分　　（令和７年７月 31 日現在）

区　分		面　積 ㎡	所有内訳 県　有 ㎡	国　有 ㎡	市町村有 ㎡	後援会有 ㎡	民　有 ㎡	摘 要
学校敷地		52,968.43	39,779.93	13,188.50				
内訳	校舎敷地	19,394.93	19,394.93					
	運動場敷地	32,462.25	20,385.00	12,077.25				
	その他の敷地	1,111.25		1,111.25				坂路
校　舎		建 2,247.59 延 7,642.84	建 2,247.59 延 7,642.84					RC５F
体育館		建 1,908.60 延 1,361.75	建 1,300.70 延 2,063.35			建　607.90 延　607.90		
その他の建物		建 1,096.35 延 1,361.75	建　941.80 延 1,207.20			建　154.55 延　154.55		
生活館		建　308.89 延　555.32	建　308.89 延　555.32					
プール		400.00	400.00					25m×16m ８コース

2　配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	52,968.43 ㎡	7,642.84 ㎡	32,462.25 ㎡
県平均	45,574.48 ㎡	9,782.41 ㎡	22,506.84 ㎡

□□□□□□

在　籍　生　徒　調

（令和７年７月 31 日現在）

学年	区分＼学科別		全日制普通科			
			定員	男子	女子	計
１年	入学者		１２０	５１	７５	１２６
		増　加				
		減　少				
	現　在			５１	７５	１２６
２年	入学者		１６０	７１	８２	１５３
		増　加				
		減　少		１	２	３
	２年時当初			７０	８０	１５０
		増　加				
		減　少		１		１
	現　在			６９	８０	１４９
３年	入学者		１６０	７８	８６	１６４
		増　加				
		減　少		３	１	４
	２年時当初			７５	８５	１６０
		増　加				
		減　少				
	３年時当初			７５	８５	１６０
		増　加				
		減　少				
	現　在			７５	８５	１６０
合　計				１９５	２４０	４３５

□□□□□□

入学志願者及び入学者数調

区分			令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
学科別			普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
生徒定員（A）			200	200	160	160	120
募集者数（B）			200	200	160	160	120
	志願者数	男	122	120	84	71 (2)	76
		女	103	55 (1)	88	82	85
		計（C）	225	175 (1)	172	153 (2)	161
	受検者数	男	116	118	80	71 (2)	76
		女	102	52 (1)	88	82	85
		計（D）	218	170 (1)	168	153 (2)	161
	合格者数	男	112	118	78	71 (2)	51
		女	93	52 (1)	86	82	75
		計（E）	205	170 (1)	164	153 (2)	126
志願倍率（C）／（B）			1.13	0.88	1.08	0.94	1.34
受検倍率（D）／（B）			1.09	0.85	1.05	0.94	1.34
入学者数		男	112	118	78	71	51
		女	93	53	86	82	75
		計（F）	205	171	164	153	126
充足率（F）／（A）			1.03	0.86	1.03	0.96	1.05

□□□□□□

卒業生の動向調

1　進路状況

学　科　別			普　　通　　科		
年　　度			令和４年度	令和５年度	令和６年度
卒業生徒数			186	201	164
内訳	（進学志願者）		（184）	（201）	（163）
	進学者	大学・短大	167	190	149
		専修・各種学校等	9	6	9
		小計	176	196	158
	就　職　者		2	0	1
	自　営　者		0	0	0
	進学準備者		8	3	5
	そ　の　他		0	2	0
合　　計			186	201	164

2　求人状況

区分	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年７月末
就職希望者数	2	0	1	0
求　人　数	173	236	238	170
求 人 倍 率	86．5	－	238．0	―

3　資格取得状況　　（令和６年度）

学 科 別	全日制普通科
卒業生徒数	１６４
実用英語技能検定準２級以上	２４
合　　計	２４

□□□□□□

生　徒　の　状　況

1　生徒の出身地域及び通学方法

(1)　出身地　　（令和７年７月31日現在）（単位：人）

市町名	伊豆市	伊豆の国市	函南町	裾野市	御殿場市	三島市	清水町	長泉町	沼津市	熱海市	伊東市	埼玉県	合計
生徒数	61	88	62	4	1	121	27	34	25	3	8	1	435
構成比％	14.0	20.2	14.3	0.9	0.2	27.8	6.2	7.8	5.8	0.7	1.9	0.2	100.0

(2)　通学方法　　（令和７年７月31日現在）（単位：人）

区　分	自転車	交通機関	徒　歩	その他	合　計
生徒数	239	159	22	15	435
構成比％	54.9%	36.6%	5.1%	3.4%	100％

2　部（クラブ）の加入状況

（令和７年７月31日現在）（単位：人）

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部（クラブ）数		12	5		17
男子	1年	46	4	1	51
	2年	51	11	7	69
	3年	50	24	1	75
	計（A)	147	39	9	195
	構成比	75.4%	20.0%	4.6%	100%
女子	1年	37	37	1	75
	2年	39	37	4	80
	3年	46	35	4	85
	計（B)	122	109	9	240
	構成比	50.8%	45.4%	3.8%	100%
合計	(A+B)	269	148	18	435
	構成比	61.9%	34.0%	4.1%	100%

□□□□□□
（全日制）

授業料収納状況調

期別	月別	調定の状況									
		1年		2年		3年		4年		計	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額
一期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円
	5										
	6										
	7	37	1,098,900	43	1,277,100	42	1,247,400			122	3,623,400
	8										
	計	37	1,098,900	43	1,277,100	42	1,247,400			122	3,623,400
二期	7										
	8										
	9										
	10	39	1,930,500	43	2,128,500	46	2,277,000			128	6,336,000
	11										
	12			▲1	▲49,500					▲1	▲49,500
	計	39	1,930,500	42	2,079,000	46	2,277,000			127	6,286,500
三期	12										
	1	39	1,544,400	42	1,663,200	46	1,821,600			127	5,029,200
	2										
	3										
	計	39	1,544,400	42	1,663,200	46	1,821,600			127	5,029,200
合計		115	4,573,800	127	5,019,300	134	5,346,000			376	14,939,100

令和７年度　令和７年７月31日現在　該当なし

（令和６年度）

収納の状況				異動者等の状況
納期内収納額	収納率	納期後収納額	収入未済額	
円	%	円	円	
3,564,000	98.4	0	59,400	A．期首収納権利発生額 ＝ 3,623,400円 （122人×9,900円×3月＝ 3,623,400円） B．収納権利増減（▲）額＝ 0円 C．収納必要額A（±）B＝ 3,623,400円
		59,400	0	
3,564,000	98.4	59,400	0	
				A．期首収納権利発生額 ＝ 6,336,000円 （128人×9,900円×5月＝ 6,336,000円） B．収納権利増減（▲）額＝ 49,500円 遡及認定 2年1人（1人×9,900円×5月） C．収納必要額A（±）B＝ 6,286,500円
6,088,500	96.1	0	247,500	
		247,500	0	
▲49,500				
6,039,000	96.1	247,500	0	
4,870,800	96.9	0	158,400	A．期首収納権利発生額 ＝ 5,029,200円 （127人×9,900円×4月＝ 5,029,200円） B．収納権利増減（▲）額＝ 0円 C．収納必要額A（±）B＝ 5,029,200円
		158,400	0	
4,870,800	96.9	158,400	0	
14,473,800	96.9	465,300	0	D． 収納必要額 ＝ 14,939,100円

□□□□□□□

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区　　分	令和６年度	令和７年７月 31 日現在
	件　　数	件　　数
入学検定料	164 件	０件

□□□□□□□

預　　金　　調

（令和７年７月31日現在）

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高　円	摘要
スルガ銀行 伊豆長岡支店	無利息型 普通預金	1035592	静岡県立伊豆中央高等学校 資金前渡者校長　川村陽一	0	給料
スルガ銀行 伊豆長岡支店	無利息型 普通預金	1494860	（自振口）伊豆中央高等学校 資金前渡者校長　川村陽一	0	光熱水費・後納郵便料
残　高　合　計				0	

□□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額（円）		
					令和５年度	令和６年度	左のうち、５年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		2,771,512	
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		653,730	
計					2,068,660	3,425,242	0
(14) 工事請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		0	
計					3,058,000	0	0
(16) 公有財産購入費						0	
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	学校教育費	高校教育費		5,918,000	
計					0	5,918,000	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		41,647,500	
計					47,068,900	41,647,500	0
(21) 補償、補填及び賠償金						0	
計					0	0	0

□□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

（令和７年７月31日現在）

節名	会計	款	項	目	執　行　済　額　（円）	
						うち、令和６年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	0
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	33,000	0
	一般会計	教育費	学校教育費	高校教育費	0	0
計					33,000	0
(14) 工事請負費					0	0
計					0	0
(16) 公有財産 購入費					0	0
計					0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	0	0
	一般会計	教育費	学校教育費	高校教育費	0	0
計					0	0
(18) 負担金、補助 及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	9,220,300	0
計					9,220,300	0
(21) 補償、補填 及び賠償金					0	0
計					0	0

□□□□□

委　託　料　に　関　す　る　調

（令和６年度）

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
	（事務関係）		円	円	円	円				円		
1	浄化槽保守点検業務	（有）清水総業	46,200	46,200	0	46,200	随契	6.4.1～7.3.31	7.4.15	46,200	浄化槽保守点検	韮山 随契１号（少額）
2	建築基準法第12条に基づく定期点検業務	（有）コーセイ産業	2,895,090	2,378,640	0	2,378,640	一般	6.8.1～6.11.29	6.12.25	2,378,640	建築基準法第12条に基づく定期点検	土肥･伊豆総合･韮山･田方農業･三島南･三島北･三島長陵・東部特支・伊豆の国特支
3	廃棄物収集運搬処分業務	（株）東部処理	79,200	79,200	0	79,200	随契	6.8.5～6.11.29	6.11.19	79,200	混合廃棄物収集運搬処分	随契１号（少額）
4	ＧＨＰ定期点検業務	サーラE&L静岡（株）三島支店	528,330	528,330	0	528,330	随契	6.12.16～7 3.28	7.3.14	528,330	ガスヒートポンプ定期点検	随契１号（少額）
	事務関係計	４件								3,032,370		
	（工事関係）											
1	有害物質含有調査業務委託	東海プラント分析センター（株）	550,000	429,000	△36,128	392,872	随契	6.10.29～6.11.19	6.12.16	392,872	有害物質含有調査	随契１号（少額）
	工事関係計	１件								392,872		
	合計	５件								3,425,242		
参考1	警備業務	セコム(株)		15,364,800 19,965,000	100,100 0	15,464,900 19,965,000		1.10.1～6.9.30 6.10.1～11.9.30			機械警備	三島北
参考2	消防用設備等保守点検業務	伊豆防災機器(株)		8,156,104	0	8,156,104		6.4.1～7.3.31			消防用設備等の機能保全	三島北
参考3	自家用電気工作物保安管理業務	(株)静岡ケイテクノ		1,333,200	60,500	1,393,700		6.4.1～7.3.31			自家用電気工作物保安管理	韮　山
参考4	廃棄物収集運搬処分業務	(株)マエダ美化		506,660	0	506,660		6.4.5～7.3.31			可燃･ﾋﾞﾆｰﾙﾌﾟﾗｽﾁｯｸｺﾞﾐの収集･運搬･処分	韮　山
参考5	プール浄化装置保守点検業務	東伸興産(株)		194,700	0	194,700		6.4.8～6.10.18			プール循環浄化装置保守点検	伊豆総合
参考6	校舎棟屋上防水ほか改修工事設計業務	(株)日建築設計事務所		3,905,000	0	3,905,000		6.9.9～7.1.29			校舎棟屋上防水ほか改修工事設計	建築住宅課
	合計	６件										

□□□□□

委 託 料 に 関 す る 調

（令和７年度）

令和７年７月31日現在

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額 当初額	契約金額 変更増減額	契約金額 計	契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
	（事務関係）		円	円	円	円				円		
1	浄化槽保守点検業務	（有）清水総業	46,200	46,200	0	46,200	随契	7.4.1～8.3.31			浄化槽保守点検	韮山 随契１号（少額）
	事業関係計	１件										
	（工事関係）											
1	有害物質含有調査業務	東海プラント分析センター（株）	77,000	66,000	0	66,000	随契	7.5.26～7.7.4			有害物質含有調査	随契１号（少額）
2	アスベスト含有調査業務	東海プラント分析センター（株）	33,000	33,000	0	33,000	随契	7.6.10～7.7.4	7.7.30	33,000	アスベスト含有調査	随契１号（少額）
	工事関係計	２件								33,000		
	合計	３件								33,000		
参考1	警備業務	セコム(株)		19,965,000	0	19,965,000		6.10.1～11.9.30			機械警備	三島北
参考2	消防用設備等保守点検業務	伊豆防災機器(株)		8,032,024	0	8,032,024		7.4.1～8 3.31			消防用設備等の機能保全	三島北
参考3	自家用電気工作物保安管理業務	(株)静岡ケイテクノ		1,359,600	0	1,359,600		7.4.1～8.3.31			自家用電気工作物保安管理	韮　山
参考4	廃棄物収集運搬処分業務	(株)マエダ美化		501,490	0	501,490		7.4.4～8.3.31			可燃･ﾋﾞﾆｰﾙﾌﾟﾗｽﾁｯｸｺﾞﾐの収集･運搬･処分	韮　山
参考5	プール浄化装置保守点検業務	東伸興産(株)		191,400	0	191,400		7.4.7～7.10.17			プール循環浄化装置保守点検	伊豆総合
参考6	伊豆中央警察署伊豆の国市公舎解体ほか工事設計業務	一級建築士事務所アトリエ結		2,277,000	0	2,277,000		7.6.5～7.10.17			体育館屋根・外壁修繕工事設計	建築住宅課
参考7	畜産技術研究所汚水処理施設改修他工事設計業務	(有)オサダ設計		2,750,000	0	2,750,000		7.6.3～7.10.31			職員室、パソコン室空調設備更新工事設計	設備課
	合計	７件										

□□□□□

負担金支出調

（令和６年度）

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項による	第76回総会・研究協議会参加費	4,000	６．５．１
2	東海四県高等学校長連絡協議会総会・研究協議会参加費	東海四県高等学校長連絡協議会	開催要項による	令和６年度連絡協議会総会・研究協議会参加費	2,000	６．７．９
3	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料（第１期 356名分）	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	10,573,200	振替日 ６．７．31
4	全国普通科高等学校長会総会・研究協議会参加費	全国普通科高等学校長会	開催要項による	第74回総会・研究協議会参加費	6,000	６．８．20
5	全国英語教育研究大会参加費	全国英語教育研究団体連合会	開催要項による	第74回全国英語教育研究大会参加費	6,000	6.10.11
6	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料（第２期 350名分）	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	17,226,000	振替日 6.10.31
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料（第２期１名分）	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる（遡り認定）	49,500	６.12.５
8	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料（第３期３４８名分）	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	13,780,800	振替日 ７．１.31
計		８件			41,647,500	

□□□□□

負担金支出調

（令和７年度）

（令和７年７月 31 日現在）

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項による	第 77 回総会・研究協議会参加費	4,000	７．４．30
2	特別管理産業廃棄物管理責任者講習会受講料	公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター	開催要項による	特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会受講料	13,200	７．５．21
3	全国普通科高等学校長会総会・研究協議会参加費	全国普通科高等学校長会	開催要項による	第 75 回総会・研究協議会参加費	6,000	７．７．29
4	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料（第１期 310 名分）	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	9,197,100	７．７．31
計		４　件			9,220,300	

□□□□□

建　　築　　工

整理番号	予算科目	工事名	工事箇所	当初設計金額	契約金額			契約締結方法
					当初額	変更増減額	計	
	該当なし							

整理番号	予算科目	工事名	工事箇所	当初設計金額	契約金額			契約締結方法
					当初額	変更増減額	計	
	該当なし							
		合計						

事　　調

令和６年度

受注者	着　　手 完成（予定） 年　月　日	支出済額	工事概要	公　有　財 産　台　帳	摘要

令和７年度
（令和７年７月31日）

受注者	着　　手 完成（予定） 年　月　日	支出済額	工事概要	公　有　財 産　台　帳	摘要

□□□□□

公　有　財　産　調

（令和６年度）

区　分	６年３月31日 現　在		増		減		７年３月31日 現　在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 2,517,836		千円		千円 51,769		千円 2,466,067	
土　地	㎡ 39,779.93	2,371,472					㎡ 39,779.93	2,371,472	
立木竹	本 88	796					本 88	796	
建　物	㎡ 4,798.98 11,468.71	113,953			―	47,961	㎡ 4,798.98 11,468.71	65,992	
工作物	個 85	31,615			―	3,808	個 85	27,807	
普通財産		0						0	
土　地	㎡ 0	0					㎡ 0	0	
立木竹	本 0	0					本 0	0	
建　物	㎡ 0	0					㎡ 0	0	
工作物	個 0	0					個 0	0	
公有財産に準ずるもの		248						248	
電　話加入権	件 4	248					件 4	248	

令和７年度中増減なし

□□□□□

借 地 借 家 等 調

（令和７年７月 31 日現在）

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	伊豆の国市寺家 970-1 地先 狩野川右岸		河川敷	㎡ 13,188.5	円	円 無償	30.2.19 ～ 9.3.31	国土交通省中部地方整備局長	運動場 12077.25 ㎡ 坂路 1111.25 ㎡
	土地	計				13,188.5					
2	建物	雑屋建	伊豆の国市寺家 970-1	軽量鉄骨造	1階建	42.00 / 42.00		〃	6.4.1 ～ 9.3.31	伊豆中央高等学校後援会長	屋根付ブルペン
3	〃	事務所建	〃	鉄骨鉄筋コンクリート	一部2階建	607.90 / 607.90		〃	6.4.1 ～ 9.3.31	〃	トレーニングルーム 586.30 ㎡ 物置 21.60 ㎡
4	〃	〃	〃	鉄筋コンクリート	1階建	94.08 / 94.08		〃	6.4.1 ～ 9.3.31	〃	グラウンド部室
5	〃	倉庫建	〃	木造プレハブ	〃	6.48 / 6.48		〃	6.4.1 ～ 9.3.31	〃	野球部物置
6	〃	〃	〃	スチール	〃	3.20 / 3.20		〃	6.4.1 ～ 9.3.31	〃	野球部物置
7	〃	〃	〃	木造プレハブ	〃	4.86 / 4.86		〃	6.4.1 ～ 9.3.31	〃	テニス部物置
8	〃	倉庫建	〃	スチール	〃	3.93 / 3.93		〃	7.4.1 ～ 8.3.31	伊豆中央高校野球部父母協力会長	野球部物置
	建物	計				762.45 / 762.45					

□□□□□

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
9	工作物	冷暖房装置	伊豆の国市寺家 970-1	普通教室空調設備		個 1	円	円 475,472	6．2．7 ～ 16．6．30	三井住友ファイナンス＆リース（株）	普通教室空調設備
10	〃	〃	〃	特別教室空調設備		1		3,600,352	6．7．1 ～ 19．6．30	ＮＴＴ・ＴＣリース（株）静岡支店	特別教室空調設備
	工作物	計				2		4,075,824			

□□□□□□□

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

（令和６年７月31日現在）

区　分	事業名又は契約名	内　　容	契約額	（契約額の年度別内訳）				
				６年度	７年度	８年度	９年度	10年度
長期継続契　約	カラー印刷機賃貸借契約	カラー印刷機１台に係る使用料及び賃借料（契約日）令和６年４月１日	3,300,000円	660,000円	660,000円	660,000円	660,000円	660,000円
	電子複写機賃貸借契約	電子複写機１台に係る使用料及び賃借料（契約日）令和６年４月１日	176,022円	35,204円	35,204円	35,204円	35,204円	35,206円

□□□□□

行 政 財 産 貸 付 ・ 使 用 許 可 調

（令和７年７月 31 日現在）

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	伊豆の国市寺家970-1	学校敷地	学校敷地	m 168.69		免除	7．4．1 ～12．3．31	伊豆中央高等学校後援会長	庭園
2	建物	事務所建	〃	ＲＣ５Ｆ	ＲＣ５Ｆ	㎡ 28.22		免除	6．4．1 ～9．3．31	〃	購買室
3	〃	〃	〃	RC5F RS2F	RC5F RS2F	㎡ 4.13		円 7,400	7．4．1 ～10．3．31	〃	自動販売機 飲料食品併売２台 パン　１台
4	土地	学校敷地	〃	学校敷地	学校敷地	㎡ 11.25		免除	6．4．1 ～9．3．31	〃	団体職員用駐車場
	建物	事務所建		ＲＣ５Ｆ	ＲＣ５Ｆ	㎡ 3.3					団体職員用執務室
5	土地	学校敷地	〃	学校敷地	学校敷地	㎡ 11.25		免除	6．4．1 ～9．3．31	伊豆中央高等学校PTA進学指導振興会長	団体職員用駐車場
	建物	事務所建		ＲＣ５Ｆ	ＲＣ５Ｆ	㎡ 3.3					団体職員用執務室
6	土地	学校敷地	〃	学校敷地	学校敷地	㎡ 4.26		免除	7．4．1 ～8．3．31	寺家区長	寺家野島地区防災備品倉庫敷地
7	〃	〃	〃	〃	〃	㎡ 0.25		免除	7．4．1 ～12．3．31	伊豆の国市長	防犯灯敷地
8	土地	学校敷地	〃	学校敷地	学校敷地	㎡ 1.43		免除	7．4．1 ～12．3．31	伊豆の国市長	防災無線半固定局・アンテナ設置敷地
	建物	事務所建		RC5F RS2F	RC5F RS2F	2.79					
	〃	〃		〃	〃	0.18					
9	〃	〃	〃	ＲＣ５Ｆ	ＲＣ５Ｆ	㎡ 1.00		免除	7．4．1 ～12．3．31	〃	同報無線
10	〃	雑屋建	〃	重量鉄骨２Ｆ	重量鉄骨２Ｆ	㎡ 3.8		免除	7．4．1 ～12．3．31	〃	災害備蓄品設置

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
11	土地	学校敷地	伊豆の国市寺家970-1	学校敷地	学校敷地	m 330.05		円 25,860	７．４．１～12．３．31	韮山温泉組合長	給湯管（外径0.125m）
						m 104.10					水道管（外径0.025m）
12	〃	〃	〃	〃	〃	㎡ 1.00		円 1,130	７．４．１～10．３．31	ＮＴＴ西日本（株）静岡支店長	街頭用公衆電話
13	〃	〃	〃	〃	〃	本 14	円 1,500	円 21,000	７．４．１～10．３．31	東京電力ﾊﾟﾜｰｸﾞﾘｯﾄﾞ（株）伊豆支社長	本柱８本 支線５条 支線柱１本
14	建物	事務所建	〃	ＲＣ５Ｆ	ＲＣ５Ｆ	㎡ 2.00		円 262,400	７．４．１～９．３．31	ダイドードリンコ株式会社東海営業部長	自動販売機 清涼飲料１台
	〃	〃	〃	〃	〃	㎡ 2.00			７．４．１～９．３．31	〃	自動販売機 清涼飲料１台
	土地	学校敷地	〃	学校敷地	学校敷地	㎡ 2.00			７．４．１～９．３．31	〃	自動販売機 清涼飲料１台
15	建物	事務所建	〃	ＲＣ５Ｆ	ＲＣ５Ｆ	㎡ 0.84		円 1,430	７．４．１～10．３．31	松本印刷株式会社	デジタサイネージ
合計								円 319,220			

□□□□□□□

主　要　備　品　調

（令和７年７月 31 日現在）

整理番号	区分 大・中	区分 小	品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
1	10－６	教育調理器具	調理台一式　ヤガミ 教師用１台生徒用 10 台	週３日（年間 150 日） 家庭科授業・部活動	平成10年９月	円 7,402,500
2	２－１	ﾊﾟｰｿﾅﾙｺﾝﾋﾟｭｰﾀ 周辺機器	パーソナルコンピュータ 周辺機器	週５日（年間 195 日） 授業	令和元年９月	5,548,986
3	２－２	放送装置	非常・業務兼用ラック型放送装置	毎日（年間 365 日） 運営用	平成29年２月	1,436,400
4	10－７	鍵盤楽器	グランドピアノ	毎日（年間 250 日） 音楽授業・部活動	平成30年３月	1,147,824
5	10－12	トレーニング用器具	レッグカールマシン BA2113	毎日（年間 250 日） 体育授業・部活動	平成元年12月	1,107,250
6	３－３	その他の視覚用 再生用機器	液晶プロジェクター TH－L6	週３日（年間 120 日） 授業・学校行事	平成16年３月	1,073,100
7	10－12	トレーニング用器具	ﾊﾞﾀﾌﾗｲﾛｰｲﾝｸﾞﾏｼﾝ BA2413	毎日（年間 250 日） 体育授業・部活動	昭和54年３月	952,750
8	２－１	その他情報処理機器	その他情報処理機器 SKYMENU Pro	週４日（年間 160 日） 授業	平成26年２月	934,500
9	２－２	放送装置	放送装置 （10 局音声調整卓）	毎日（年間 195 日） 授業	平成27年２月	756,000
10	２－１	その他の情報処理機器	サーバ ラックベースユニット	毎日（年間 365 日） 情報管理用	平成25年４月	751,800
11	03－01	写真機用器具	ｻｰﾓｸﾞﾗﾌｨｰｶﾒﾗｽｸｰﾙ 8-700-0402	毎日（年間 20 日） 運営用	令和３年９月	748,000
12	02－01	その他の情報処理機器	Surface Studio2+ SBG-00009	毎日（年間 250 日） 授業、自由開放	令和６年12月	678,535
13	02－01	その他の情報処理機器	Surface Studio2+ SBG-00009	毎日（年間 250 日） 授業、自由開放	令和６年12月	678,535
14	02－01	その他の情報処理機器	Surface Studio2+ SBG-00009	毎日（年間 250 日） 授業、自由開放	令和６年12月	678,535
15	02－01	その他の情報処理機器	Surface Studio2+ SBG-00009	毎日（年間 250 日） 授業、自由開放	令和６年12月	678,535
16	02－01	その他の情報処理機器	Surface Studio2+ SBG-00009	毎日（年間 250 日） 授業、自由開放	令和６年12月	678,535
17	02－01	その他の情報処理機器	Surface Studio2+ SBG-00009	毎日（年間 250 日） 授業、自由開放	令和６年12月	678,535
18	02－01	その他の情報処理機器	Surface Studio2+ SBG-00009	毎日（年間 250 日） 授業、自由開放	令和６年12月	678,535
19	02－01	その他の情報処理機器	Surface Studio2+ SBG-00009	毎日（年間 250 日） 授業、自由開放	令和６年12月	678,535
20	10－７	管楽器	ファゴット	毎日（年間 250 日） 音楽授業・部活動	平成16年３月	573,212

□□□□□

職　員　調

（令和７年７月31日現在）

整理番号	職　名	氏　　名	事務分担	住　　所	勤務年数	摘　　要	
					年　月		
1	校　長	川村　陽一		□□□□	□．□	□□	□□□
2	副校長	日吉　健久		□□□□	□．□	□□	□□□
3	教　頭	清水　隆弘	理科	□□□□	□．□	□□	□□□
4	事務長	山﨑　裕美子		□□□□	□．□	□□	□□□
5	教　諭	小林　一幸	保体	□□□□	□．□	□□	□□□
6	教　諭	鈴木　隆	理科	□□□□	□．□	□□	□□□
7	教　諭	太田　高司	地歴・公民	□□□□	□．□	□□	□□□
8	教　諭	平間　信行	英語	□□□□	□．□	□□	□□□
9	教　諭	室伏　ゆり江	英語	□□□□	□．□	□□	□□□
10	教　諭	小野　正	理科	□□□□	□．□	□□	□□□
11	教　諭	近田　美希子	英語	□□□□	□．□	□□	□□□
12	教　諭	高橋　幸	国語	□□□□	□．□	□□	□□□
13	教　諭	稲葉　亜矢子	英語	□□□□	□．□	□□	□□□
14	教　諭	仲野　克俊	保体	□□□□	□．□	□□	□□□
15	教　諭	影山　英伸	保体	□□□□	□．□	□□	□□□
16	教　諭	山本　　薫	数学	□□□□	□．□	□□	□□□
17	教　諭	河野　健太郎	国語	□□□□	□．□	□□	□□□
18	教　諭	宮本　充剛	数学	□□□□	□．□	□□	□□□
19	教　諭	安田　晶子	国語	□□□□	□．□	□□	□□□
20	教　諭	富士本 享之	数学	□□□□	□．□	□□	□□□
21	教　諭	浅川　江理子	保体	□□□□	□．□	□□	□□□
22	教　諭	宮内　可奈子	地歴・公民	□□□□	□．□	□□	□□□
23	教　諭	大山　珠希	国語	□□□□	□．□	□□	□□□
24	教　諭	長尾　之裕	地歴・公民	□□□□	□．□	□□	□□□
25	教　諭	石川　裕祐	理科	□□□□	□．□	□□	□□□

整理番号	職　名	氏　　名	事務分担	住　　所	勤務年数	摘　　要	
26	教　諭	栗山　実優	理科	□□□□	□　.　□	□□	□□□
27	教　諭	久保　雅央	数学	□□□□	□　.　□	□□	□□□
28	教　諭	青野　智也	数学	□□□□	□　.　□	□□	□□□
29	教　諭	山田　翔平	地歴・公民	□□□□	□　.　□	□□	□□□
30	教　諭	角本　雅治	理科	□□□□	□　.　□	□□	□□□
31	教　諭	市野　伶奈	理科	□□□□	□　.　□	□□	□□□
32	養護教諭	塩谷　浩子	養護	□□□□	□　.　□	□□	□□□
33	実習助手	北川　裕紀	理科	□□□□	□　.　□	□□	□□□
34	主　任	石川　奈津実	庶務・会計	□□□□	□　.　□	□□	□□□
35	主　任	末永　夏梨	管財	□□□□	□　.　□	□□	□□□
				平　均　年　数	□　.　□		

臨時・任期付・会計年度任用職員等

整理番号	職　名	氏　　名	事務分担	住　　所	勤務年数	摘　　要	
1	主事（臨）	原　　美奈子	庶務	□□□□	□　.　□	□□	□□□
2	外国語指導講師	Jaclyn Husted	英語	□□□□	□　.　□	□□	□□□
3	非常勤労務職員	相馬　厚志	用務	□□□□	□　.　□	□□	□□□
4	非常勤労務職員	瀧下　忠	用務	□□□□	□　.　□	□□	□□□
5	非常勤労務職員	眞野　克浩	用務	□□□□	□　.　□	□□	□□□
6	非常勤講師	髙柴　弥生	国語	□□□□	□　.　□	□□	□□□
7	非常勤講師	杉山　義紀	音楽	□□□□	□　.　□	□□	□□□
8	非常勤講師	鈴木　健司	美術	□□□□	□　.　□	□□	□□□
9	非常勤講師	内田　緑	家庭	□□□□	□　.　□	□□	□□□
10	非常勤講師	松島　秀典	英語	□□□□	□　.　□	□□	□□□
11	非常勤講師	西川　愛美	書道・情報	□□□□	□　.　□	□□	□□□
12	非常勤講師	古賀　惠介	地歴・公民	□□□□	□　.　□	□□	□□□
13	非常勤講師	竹内　堅二	数学	□□□□	□　.　□	□□	□□□
14	非常勤講師	櫻井　由美子	理科	□□□□	□　.　□	□□	□□□
15	部活動指導員	大川　文夫	テニス	□□□□	□　.　□	□□	□□□
16	校　　医	杉本　忠彦	内科	□□□□	□　.　□	□□	□□□
17	校　　医	紀平　章代	眼科	□□□□	□　.　□	□□	□□□
18	校　　医	佐藤　隆夫	耳鼻科	□□□□	□　.　□	□□	□□□
19	校　　医	椎貝　哲文	歯科	□□□□	□　.　□	□□	□□□
20	校　　医	池田　真王	歯科	□□□□	□　.　□	□□	□□□
21	薬剤師	荻倉　健介		□□□□	□　.　□	□□	□□□

職 員 の 年 齢 調

（令和７年７月31日現在）

年　　齢	人　　員	摘　　要
２０歳未満	0　人	
２０歳以上３０歳未満	4	
３０歳以上４０歳未満	7	
４０歳以上５０歳未満	9	
５０歳以上５６歳未満	6	
５６歳以上６１歳未満	7	
６１歳以上	2	再任用２人
計	35	平均年齢　45.6歳

□□□□□□□

健康管理

1　令和６年度 受診状況

区　　分	内　　容
受　診　状　況	受診者数　　３９人 職 員 数　　３９人
受　　診　　率	１００％
県平均受診率	１００％

(1) 未受診の理由

2　令和７年度 在籍者の健康管理区分結果

健　康　管　理　区　分			人　数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		０人
B１	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要治療	０人
B２		要経過観察	０人
C１	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要治療	０人
C２		要経過観察	０人
D１	平常の勤務でよい。	要治療	（　３） ３人
D２		要経過観察	（　５） ５人
D３		医療不要	（２２） ２７人
区分者計			（３０） ３５人
未区分者数			０人
合　　計			（３０） ３５人

(1) 管理区分Ａ～Ｃ２該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア　産休・育休　　人
イ　新規採用　　人
ウ　自己都合による未受診　　人
エ　その他
（休　職）　　人